



プリローダ

第72号
(NPO 第18号)



【ПРИРОДА】プリローダ＝ロシア語で“自然”という意味をあらわす

発行：令和3年7月1日

むさしの・多摩・ハバロフスク協会は、東京都武蔵野市で生まれた、「寒帯林保全」、「自然体験活動」、「国際交流」などを行う NPO 法人です。

本年 9 月、皆さまからの会費（寄付金を含む）だけで植樹を実施します！

協会設立25周年記念 ハバロフスク植樹

毎年、緑の募金より補助金を頂いて実施しておりました植林事業ですが、本年も新型コロナウイルス感染症の影響で渡航ツアーを実施することは断念しました。しかし、幸いハバロフスク地方の状況は安定しており、現地植林関係者の方々よりロシア人メンバーだけで、ぜひ25周年記念植樹を実施したいとご提案を頂きました。

緑の募金の補助金は、あくまで日本とロシアの共同作業に対する補助金になりますので今回は申請することができませんが、1998年から続けてきた植林活動を何とかして継続したいと考えました。

そこで、本年は協会設立25周年の特別事業として、皆さまから頂いた会費や寄付金だけを資金に9月中旬にハバロフスクにおいて記念植樹を実施することと致します。補助金は数百万円でしたので同じ規模ではできませんが、集まったお金に見合った金額の苗木数を植えることにします。

年会費未納の方は、ぜひともご協力のほどをお願い致します。また寄付金は会費と同じ下記口座で、金額を問わず、いつでも受け付けております。みなさまのご支援を頂いて、なんとか事業を継続させたいと思います。

なにとぞよろしくご協力のほどをお願い致します！

会費および寄付金の振込先

・三菱東京 UFJ 銀行 吉祥寺支店（店番 220）

普通預金 0041070

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会（トカツムサシノマハロフスク）

・ゆうちょ銀行 〇一九店（019）

当座預金 0655125

NPO 法人むさしの多摩ハバロフスク協会

※会員区分および会費

<賛助会員> 個人 2,000 円／1 口 家族 3,000 円／1 口 団体 10,000 円／1 口

<正会員> 個人 5,000 円／1 口 家族 6,000 円／1 口 団体 13,000 円／1 口

2021年度総会資料

2021年5月9日（日）午後3時からZOOMミーティングを利用して2021年度定期総会を開催いたし、すべての事案が承認されましたのでご報告いたします。

議案第1号

2020年度 事業報告書

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

1 事業の成果

植林事業では、新型コロナウイルス感染症の影響でハバロフスクメンバーだけによる規模を縮小した事業実施となった。しかしながら、オンライン会議で環境セミナーのみは日露共同で実施した。当初計画していたロシア料理を楽しむ会事業は、10月から3月に延期を検討したものの、緊急事態宣言の発出等もあり中止とした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業 (事業費の総費用【1,090】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ロシア植林における寒帯林の保全と国際協力事業	植林ボランティアツアー事業として緑の募金国際緑化直接事業の補助を受けて、植林活動を行った。	2020.4.29 2020.5.4	ロシア植林 ハバロフスク地方	3	環境保護に関心のある日本・ハバロフスク地方の人々	延べ40人	980
その他この法人の目的達成に必要な事業	広報紙プリローダを発行して広く活動を紹介した。	2020.8.1 2021.1.30		3	協会会員他一般市民	延べ600人	110

(2) その他の事業 (事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)

議案第4号

2021年度役員・顧問の選任について(案)

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会会員のうち、以下のものを該当役員とする。(任期は2年とする)

変更年月日 変更事項	役名	(フリガナ) 氏名	住所又は居所
2021年 7月7日再任	理事長	アンダ エミ 安藤 榮美	東京都武蔵野市吉祥寺東町 1丁目15番25号
2021年 7月7日再任	副理事長	オサムラ コウジ 長村 康司	東京都武蔵野市吉祥寺南町 5丁目14番11号
2021年 7月7日再任	副理事長	オザキ ケイコ 田崎 桂子	東京都小金井市東町 1丁目17番6号
2021年 7月7日再任	理事	イダ カズヤ 依田 和也	東京都府中市美好町 1丁目11番地の2
2021年 7月7日再任	理事	チカワ ショウジ 武川 俊二	神奈川県座間市相模が丘 3丁目53番7号
2021年 7月7日再任	理事	ナガタ ヒデアキ 永田 秀樹	東京都武蔵野市境南町 5丁目1番20号
2021年 7月7日再任	理事	カンノ アサヒコ 菅野 昭彦	東京都武蔵野市桜堤 3丁目36番地15
2021年 7月7日再任	理事	ミウラ カズマサ 三浦 和真	東京都武蔵野市八幡町 2丁目2番1号
2021年 7月7日再任	理事	ヤマモト セイイチロウ 山本 誠一郎	東京都西東京市新町5丁目1番1号 セピアコート107号
2021年 7月7日再任	理事	ウチダ ヒロユキ 内田 彰	東京都港区台場1丁目3番2-707号
2021年 7月7日再任	監事	タカハシ ケンゴ 高橋 善数	東京都町田市鶴川 2丁目15番地2の105
2021年 7月7日再任	監事	オサダ ケン 落合 恒	東京都武蔵野市境5丁目2番23号

書式第13号(法第28条関係)

議案第2号

2020年度 活動計算書

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

(単位:円)

科目	金額	小計・合計
(A) 経常収益		232,000
1 受取金等		
正会員受取金	99,000	
賛助会員受取金	133,000	
2 受取寄附金		22,140
受取寄附金	22,140	
施設等受入経費		
3 受取助成金等		800,000
受取助成金(植林事業)	800,000	
4 事業収益		180,200
植林事業収益	180,200	
5 その他の収益		24,256
受取利息等	24,256	
経常収益計		1,259,599
(B) 経常費用		
1 人件費		0
給料手当	0	
役員報酬	0	
2 その他の経費		1,089,804
植林費	338,181	
旅費交通費	203,156	
宿泊費	0	
食費	7,155	
通信運搬費	15,900	
通訳翻訳費	149,108	
消耗品費	90,389	
印刷製本費	222,838	
会議費	346	
会費	1,100	
謝金	73,545	
支払手数料	3,988	
施設利用料	0	
保険料	0	
公租公課	0	
施設等経費	0	
減価償却費	0	
事業費計		1,089,804
2 経費		0
(1) 人件費		0
役員報酬	0	
給料手当	0	
(2) その他の経費		120,155
旅費交通費	0	
通信運搬費	41,515	
通訳翻訳費	15,900	
接待交際費	11,000	
消耗品費	5,972	
印刷製本費	21,866	
会議費	0	
支払手数料	23,852	
書籍購入料	0	
広告費	0	
減価償却費	0	
経常費用計		120,155
経常費用計		1,209,959
経常収支増減額(A)-(B)		48,627
(C) 経常外収益		
固定資産売却益	0	
固定資産売却損	0	
経常外収益計		0
(D) 経常外費用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
経常外費用計		0
経常外費用計		0
繰上経常増減正味増減額(C)-(D)		48,627
繰上経常増減正味増減額(C)-(D)		48,627
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰上増減正味増減額		643,930
次期繰上増減正味増減額		692,557

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会 顧問名簿

2021年度の「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」の顧問は、下記のとおりである。

2021年5月9日現在

氏名	就任日
顧問 土屋 正 忠	平成21年4月18日
顧問 稲 葉 孝 彦	平成21年4月18日
顧問 中 野 哲 夫	平成21年4月18日
顧問 長 島 昭	平成23年6月26日
顧問 田 村 俊 介	平成25年6月20日

日露環境セミナー オンライン講演会 報告

2021年4月27日午前10時（ハバロフスク時間午前11時）から通算13回目の日露環境セミナー（ロシア名称《アムール川流域における近代自然利用の哲学》第10回国際会議）をオンライン講演会という形で実施しました。当協会からは、安藤栄美理事長と長島昭顧問に加え2020年の植林ボランティアツアーに参加予定であった副島一義さん・神代道博さん、会員の小倉博明さん、大学間交流でお世話になった矢内秋生先生と武蔵野大学の伊尾木慶子先生が参加して下さいました。太平洋国立大学の参加者はアブゾフ・アレクサンドル新学部長、リャブヒン・パーベル前学部長とヴィヴォドツェフ・ニコライ先生ほか数名の学生さんたちで総勢30名ほどでした。

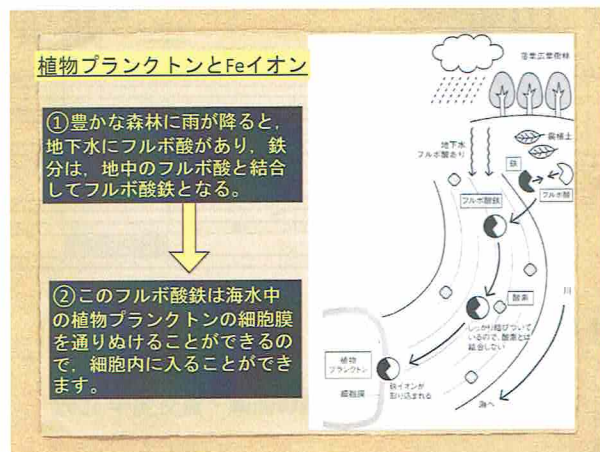
日本側の発表者は、やはり2020年の植林ボランティアツアーに参加予定であった佐藤道幸氏による『豊かなオホーツク海の源は、アムール川流域の森林と湿原であるー森が死ねば、海も死ぬー』です。内容は、2009年に設立された「アムール・オホーツクコンソーシアム」の白岩孝行氏と“森と海との関連”の研究者の松永勝彦氏の著作・研

究報告をもとに、アムール川に含まれる鉄分がその流域の湿地帯で作られた腐植物質（フルボ酸）と結びついてオホーツク海を豊かにすることを分かりやすく解説して下さいました。

ロシア側の発表は『林業の環境側面と技術的側面』と題して、アブゾフ・アレクサンドル新学部長からロシアにおける林業の現状を熟知した未来志向の内容発表があり、多数の写真や図表を用いて事例を示して下さいました。巨大気球を利用して木材を搬出する方法やリラクゼーション用環境植物園において植物生態学の分野における科学研究や環境教育プロジェクトにより大学教師と学生の心理的ストレスの予防と緩和にも役立っているという内容もありました。

最後には活発な質疑応答も行われ、矢内先生からは環境のみならず日本の歴史や文化にも興味があるロシア人学生のための研究題材として江戸時代の治水山林事業の第一人者「熊沢蕃山」の提案もあり、講演会は2時間で幕を閉じました。

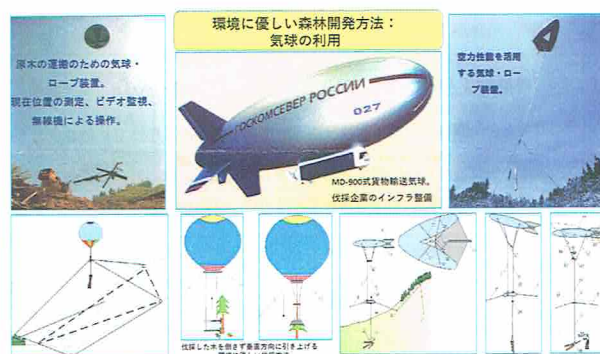
『豊かなオホーツク海の源は、アムール川流域の森林と湿原であるー森が死ねば、海も死ぬー』より抜粋



海が豊かな状態になるためには、植物プランクトンが必要です。海中で植物プランクトンはCO₂と太陽光により光合成を行います。これを活発に行うためには植物プランクトンの細胞内に鉄イオンを取り込む必要があります。アムール川周辺の豊かな森林の地中にはフルボ酸があり、これが水中の鉄と結合してフルボ酸鉄（溶存鉄）となり植物プランクトンの細胞内に入り込むことができ、光合成を活性化することができます。

活性化された藻類の集合体がアムール川河口でオホーツク海水に付着し、流水となって北海道まで来ます。また、河口で大量に供給された溶存鉄そのものも流水のほかに海流や風により輸送されます。増えた植物プランクトンにより、それを捕食する動物プランクトン→小魚→大型魚が増え、豊かな漁場となります。

『林業の環境側面と技術的側面』より抜粋



近年ロシアで特に深刻な問題は、伐採作業が終わった後の伐採残留物によって発生する森林火災です。また、伐採の際に100本の原木を調達するのに近隣の若木等を330本も傷つけてしまうことも起きています。

太平洋国立大学では、環境にやさしい森林開発方法として気球を利用した技術进行研究しています。その方法は、木を倒すことなく原木を垂直方向に引き上げる下降式挟持切断メカニズムの利用と上昇式挟持切断メカニズムの利用です。

編集後記

講演会の詳細内容は、当協会ホームページの環境セミナーのコーナーに掲載しておりますので、ご興味のあるかたはご参考になさってください。



ブリローダ 第72号

発行日	令和3年7月1日	発行	NPO法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会
住所	東京都武蔵野市吉祥寺東町1-15-25	TEL/FAX	0422-23-5351
E-mail	mail@mtxa.org	URL	https://mtxa.org/
発行人	安藤 栄美	編集	田崎 桂子
広報委員	長村 康司、依田 和也、永田 秀樹、木崎 剛、落合 恒、内田 彰、内田 央、内田 周		
印刷	巧芸印刷株式会社		